

1. 南袖大橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44246	施設ID
				経度	139.94891	35.44246,139.94891
南袖大橋 (フカナ) (ミナソデオオハシ)	南袖神納線	袖ヶ浦市南袖地先				
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	東京湾	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1983	37.4	11.5	上部構造	下部構造	基礎構造
			421-④PC橋_プレテンT桁	19-その他(橋台)	9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況						
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他
橋(全体として)	A		A		A		(-)
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3,4	(-) 写真番号
下部構造	A	写真番号 5	A	写真番号 6	A	写真番号 7	(-) 写真番号
上下部接続部	A	写真番号 8	A	写真番号 9	A	写真番号 10	(-) 写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	A	写真番号 11	-	写真番号	(-) 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 12	-	写真番号	-	写真番号	(-) 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

1-1

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44246.139.94891	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	床版02
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	2	部材番号	PC定着部11
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版02
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	2	部材番号	床版02
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44246.139.94891	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	2	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		下部構造		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A







写真番号	7	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部212
備考	荷重を支持し伝達の機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
施設ID	35.44246.139.94891	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎		
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A
							
写真番号	9	径間	2	部材番号	支承部212		
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている						
構成要素		その他(フェールセーフ)		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A
							
写真番号	11	径間	2	部材番号	-		
備考	フェールセーフの機能は保持されている						
写真番号	12	径間	1	部材番号	-		
備考	走行の安全性が確保されている						

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44246.139.94891	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	—
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	—
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部;支承部の胸壁側	—
その他(フェールセーフ)	—	無	無	—	—	無	無	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	有	不可視部:伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主桁に鉄筋露出、欠損、横桁にひびわれ、床版に遊離石灰の析出、PC定着部にひびわれが見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋台、橋脚にひびわれ、伸縮装置からの漏水が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・令和2年に耐震補強工事が実施されている。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承本体に劣化、軽微な土砂詰まり、沓座モルタルにひびわれが見られるものの、荷重を支持し伝達する機能が低下する可能性は低いと考えられる。 <p>【その他(フェールセーフ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落橋防止システムに遊離石灰を伴うひびわれ、伸縮装置からの漏水が見られる。いずれの損傷も軽微であると判断する。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は概ね健全であり、走行の安全性に影響は見られないものの、止水機能が一部喪失している状態である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地覆にひびわれが見られる。 ・防護柵に欠損、舗装、排水ますに植生、土砂詰まりが見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	--

2. 成教橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44022	施設ID	
成教橋 (フカナ) (セイキョウハン)	南袖大野台線	袖ヶ浦市南袖地先			経度	139.96302	35.44022,139.96302
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	東京湾	有	一般道	二次	無		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1982	41.5	14.0	上部構造 下部構造 基礎構造
			421-④PC橋_プレテンT桁 19-その他(橋台) 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.09	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	A	写真番号 10	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 11	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.09	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	2	部材番号	床版03
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁15
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版12
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.09	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	2	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A






写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部108
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部213
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44022.139.96302		定期点検実施年月日		2024.07.09		定期点検者		兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(フェールセーフ)											
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A									
																							
写真番号	9	径間	2	部材番号	支承部211							写真番号	10	径間	2	部材番号	-						
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている						備考						地震時におけるフェールセーフの機能が保持されている										
構成要素				その他(伸縮装置)				構成要素															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況				構成要素の状態											
												<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>											
写真番号	11	径間	1	部材番号	-							写真番号	12	径間		部材番号							
備考	走行の安全性が保持されている						備考						(適宜、特記事項など)										

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.09	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部: 上部構造端部胸壁側、 主桁上面	—
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部: 橋台背面、フーチング、 橋台前面	—
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部: 支承部の胸壁側	—
その他(フェールセーフ)	—	無	無	無	—	無	無	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	有	不可視部: 伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】 ・主桁に鉄筋露出、欠損、横桁に鉄筋露出、遊離石灰、床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。いずれの損傷も前回点検から大きな変化は見られないことから、進行は遅いと考えられる。また、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。</p> <p>【下部構造】 ・橋脚梁部の張り出し部の付け根に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。前回点検から大きな変化が見られないことから進行は遅いと考えられる。また、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・橋台、橋脚に漏水汚れが見られる。歩車道境界部の防水不良によるものと推測されるが、桁端部周辺部材への影響は見られない状態である。 ・令和4年に耐震補強工事が実施されている。</p> <p>【上下部接続部】 ・上下部接続部全体が概ね健全であり、荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている。</p> <p>【その他(フェールセーフ)】 ・落橋防止システム(縁端拡幅)に伸縮装置からの漏水が見られるものの、概ね健全である。</p> <p>【その他(伸縮装置)】 ・伸縮装置は概ね健全であり、走行の安全性に影響は見られない状態である。 ・歩車道境界部の止水機能が喪失しており、桁下部材への漏水が見られる。</p> <p>【その他】 ・防護柵の親柱にうき、欠損が見られる。 ・防護柵にボルトの脱落、舗装、排水ますに植生、土砂詰まりが見られる。維持工事による対応が望ましい。</p> <p>【健全性の診断の区分の決定】 上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	---

3. 代宿丸池橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.45591	施設ID
代宿丸池橋 (フリガナ) (ダイジユクマルイケバシ)	久保田26号線	袖ヶ浦市久保田3087地先				
緯度				経度	140.01562	35.45591,140.01562
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	浜宿川	有	一般道	指定無し	有(水道管)	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1950	4.3	2.7	上部構造 310-③RC橋_RC床版橋(その他) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45591.140.01562	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

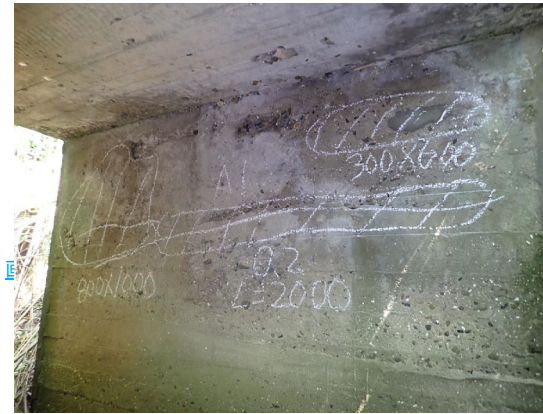
構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45591.140.01562	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A




写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.45591,140.01562		定期点検実施年月日		2024.07.03		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)											
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		9		径間		1		部材番号		支承部201		写真番号		10		径間		1		部材番号		-	
備考		荷重を支持し伝達する機能が保持されている										備考		走行の安全性が保持されている									
構成要素				構成要素				構成要素				構成要素											
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>												<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>											
写真番号		11		径間				部材番号				写真番号		12		径間				部材番号			
備考		(適宜、特記事項など)										備考		(適宜、特記事項など)									

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.45591,140.01562	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	無	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	-
下部構造	無	—	—	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	-
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	-	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	-

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主桁に剥離・豆板が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堅壁にひびわれおよびうきが見られる。前回点検から大きな変化は見られないことから、進行は遅いと考えられる。また、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部材なし <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に腐食、変形が見られる。 ・防護柵にボルトの脱落が見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、日常の維持管理を実施する必要があるが、次回定期点検までの間に特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	---

4. 久保田馬場橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.45267	施設ID
久保田馬場橋 (フカナ) (クボタババハシ)	久保田13号線	袖ヶ浦市久保田2353-7地先				
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	久保田川	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	5.2	7.4	上部構造 310-③RC橋_RC床版橋(その他) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45267.140.00520	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45267.140.00520	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.45267,140.00520		定期点検実施年月日		2024.07.03		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)											
想定する状況				3-豪雨・出水				構成要素の状態				A											
想定する状況				1-活荷重				構成要素の状態				A											
																							
写真番号	9	径間	1	部材番号	支承本体201																		
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている																						
写真番号	10	径間	1	部材番号	-																		
備考	走行の安全性が確保されている																						
構成要素						構成要素																	
想定する状況						構成要素の状態																	
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>												<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>											
写真番号	11	径間		部材番号																			
備考	(適宜、特記事項など)																						
写真番号	12	径間		部材番号																			
備考	(適宜、特記事項など)																						

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.45267,140.00520	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	無	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	
下部構造	無	—	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	
上下部接続部	無	—	無	無	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	

4-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦壁に排水口からの伝い水汚れが見られるが、特段の変状は見られない。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に腐食、地覆に欠損、舗装に軽微な段差が見られる。 ・防護柵にボルトの脱落が見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、日常の維持管理を実施する必要があるが、次回定期点検までの間に特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	---

5. 久保田新開道橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.45214	施設ID
久保田新開道橋 (フカナ) (クホダシカイトウバシ)	久保田15号線	袖ヶ浦市久保田580地先				
経度					140.00831	35.45214,140.00831
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	久保田川	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	3.8	3.9	上部構造 310-③RC橋_RC床版橋(その他) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45214.140.00831	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45214.140.00831	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.45214.140.00831	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上下部接続部		構成要素	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	構成要素の状態



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部201
備考	走行の安全性が確保されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.45214,140.00831	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	—	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	-
下部構造	無	—	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	-
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	-

5-1

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦壁に遊離石灰を伴うひびわれ、欠損が見られる。損傷は軽微であり、いずれの損傷も前回点検から大きな変化は見られないことから、進行は遅いと考えられる。また、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に腐食、変形が見られる。また、地覆、舗装に欠損が見られる。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【 I 】とする。</p>
----	---

6. 久保田小代々橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44485	施設ID
久保田小代々橋 (フカナ) (クボタコダイダイバシ)	久保田38号線	袖ヶ浦市久保田1754地先				
緯度				経度	140.01658	35.44485,140.01658
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	久保田川	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
II

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	5.0	3.0	上部構造 310-③RC橋_RC床版橋(その他) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	B	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44485.140.01658		定期点検実施年月日		2024.07.03		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造											
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		1		径間		1		部材番号		主桁01		写真番号		2		径間		1		部材番号		主桁01	
備考		鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている																					
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造											
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		3		径間		1		部材番号		主桁01		写真番号		4		径間		1		部材番号		基礎01	
備考		鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている																					
備考		荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている																					

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44485.140.01658	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
------	---	----	---	------	------

備考 荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が喪失する可能性がある

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
------	---	----	---	------	------

備考 荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
------	---	----	---	------	--------

備考 荷重を支持し伝達する機能が保持されている

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
------	---	----	---	------	--------

備考 荷重を支持し伝達する機能が保持されている

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44485.140.01658	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44485,140.01658	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	—	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部橋台背面側、主桁上面	—
下部構造	無	—	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、基礎地中部	—
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の橋台背面側	—
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】 ・主桁全体にかぶり不足及びコンクリートの充填不足が原因と思われる鉄筋露出が点在している。前回点検から大きな変化は見られないことから、損傷の進行は遅いと考えられる。また、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。</p> <p>【下部構造】 ・梁部下面に鉄筋露出、基礎部(コンクリート杭)に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。ひびわれは地震時の水平力を受けたことが主な原因と考えられる。前回点検から大きな変化は見られないものの、今後の損傷の進行による耐荷力の低下が懸念される。 ・パイルベント式の基礎であり、基礎部(コンクリート杭)が露出した構造となっている。耐震補強されていないことから「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があるとして「B」と評価した。</p> <p>【上下部接続部】 ・支承部は健全である。</p> <p>【その他(伸縮装置)】 ・伸縮装置は健全である。</p> <p>【その他】 ・防護柵に腐食、変形、地覆に欠損が見られる。 ・舗装に段差が見られる。維持工事による対応が望ましい。</p> <p>【健全性の診断の区分の決定】 上記より、日常の維持管理を実施するとともに、次回定期点検までの措置として、梁部下面の鉄筋露出、基礎部(コンクリート杭)の遊離石灰を伴うひびわれは予防保全の観点から補修することが望ましい状態である。したがって、健全性の診断の区分を【Ⅱ】とする。</p>
----	---

7. 久保田矢崎橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44403	施設ID
久保田矢崎橋 (フカナ) (クホタヤサキハシ)	久保田坂ノ下線	袖ヶ浦市久保田1733地先				
緯度				経度	140.01855	35.44403,140.01855
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	久保田川	有	一般道	指定無し	有(水道管)	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	3.8	4.5	上部構造 321-③RC橋_RC T桁 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	B	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

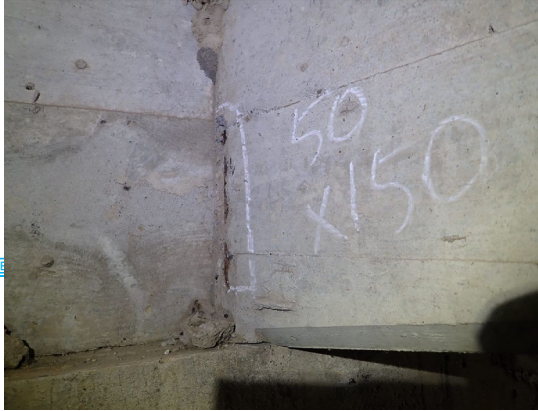
7-1

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44403.140.01855	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁03
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁04
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44403.140.01855	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台01
備考	橋台の欠損は地震により変状が生じる可能性がある。				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A




写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部103
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部202
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44403.140.01855		定期点検実施年月日		2024.07.03		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)											
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		9		径間		1		部材番号		支承部204		写真番号		10		径間		1		部材番号		-	
備考		荷重を支持し伝達する機能が保持されている										備考		走行の安全性が確保されている									
構成要素				その他				構成要素				構成要素											
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>												<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>											
写真番号		11		径間				部材番号				写真番号		12		径間				部材番号			
備考												備考											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44403,140.01855	定期点検実施年月日	2024.07.03	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	—	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	-
下部構造	無	—	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	-
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	-

7-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主桁端部に軽微な鉄筋露出が見られる。損傷は軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堅壁に豆板、鉄筋露出が見られる。いずれも損傷範囲は小さく、軽微であると判断する。 ・起点側堅壁側面に欠損が見られる。水路壁に接していることで変動がなく前回点検から進行は見られないものの、地震時などで水平力が発生した場合変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に腐食、変形、地覆にひびわれが見られる。 ・舗装に段差が見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	--

8. 蔵波殿畑一号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44815	施設ID
蔵波殿畑一号橋 (フリガナ) (クラナミノハタイチゴウバシ)	蔵波16号線	袖ヶ浦市蔵波1879-1-1地先				
緯度				経度	139.99472	35.44815,139.99472
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	蔵波川	有	一般道	指定無し	不明	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	5.3	4.0	上部構造 123-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)_桁(鋼床版) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他


※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	B	写真番号 4	B	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	B	写真番号 7	B	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44815.139.99472		定期点検実施年月日		2024.07.02		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造											
想定する状況		1.活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		2.地震		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		1		径間		1		部材番号		主桁01		写真番号		2		径間		1		部材番号		主桁02	
備考		鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている																					
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造											
想定する状況		3.豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		1.活荷重		構成要素の状態		B									
																							
写真番号		3		径間		1		部材番号		主桁03		写真番号		4		径間		1		部材番号		橋台01	
備考		鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている																					
備考		支持材の腐食は活荷重により変状が生じる可能性がある																					

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44815.139.99472	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2.地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3.豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	支持材の腐食は地震により変状が生じる可能性がある				



写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1.活荷重	構成要素の状態	B	想定する状況	2.地震	構成要素の状態	B



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部103
備考	機能は保持されているが変状が生じる可能性がある				



写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	機能は保持されているが変状が生じる可能性がある				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44815.139.99472	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
構成要素		上下部接続部		構成要素	
想定する状況	3.豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1.活荷重
				その他(伸縮装置)	
				構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部102
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考	(適宜、特記事項など)				

写真番号	12	径間		部材番号	
備考	(適宜、特記事項など)				

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.44815.139.99472	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	—	—	無	—	無	不可視部: 上部構造端部胸壁側、 床版上面	—
下部構造	無	無	無	有	無	無	不可視部: 支持材の胸壁側	—
上下部接続部	無	—	—	有	—	無	不可視部: 支承部の胸壁側	—
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	有	不可視部: 伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】 ・上部構造は健全である。</p> <p>【下部構造】 ・起点側、終点側の橋台上に設置されている支持材に断面欠損を伴う腐食が見られる。伸縮装置の目地材が脱落したことにより、雨水等が堆積したことが損傷の発生および進行の原因と考えられる。 ・湿潤状態となり腐食環境が形成されやすいことから損傷の進行は早いと推測する。支持材の耐荷力が不足することで構造安全性に影響を与えることが懸念されるため、「活荷重」および「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。</p> <p>【上下部接続部】 ・支承本体に腐食が見られる。伸縮装置の目地材が脱落したことによる漏水の影響を受けたことが原因と考えられる。 ・水の浸入により損傷が拡大することが懸念される。「活荷重」および「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 ・レベル2地震動に対応している平成24年道路橋示方書より前の基準で設計されているため、現行の基準を満足する耐震性能を有していないと推測される。</p> <p>【その他(伸縮装置)】 ・伸縮装置の目地材が脱落している。走行の安全性に影響は見られないものの、止水機能が喪失しており、桁端部周辺の鋼部材およびコンクリート部材の損傷を助長する要因となっていると考えられる。</p> <p>【その他】 ・防護柵に腐食、変形、地覆にひびわれが見られる。 ・防護柵にボルトの脱落が見られる。維持行為による対応が望ましい。</p> <p>【健全性の診断の区分の決定】 上記より、下部構造の支持材の腐食は構造安全性の観点から早期に補修すべき状態である。したがって、健全性の診断の区分を【Ⅲ】とする。</p>
----	---

9. 蔵波殿畑二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44779	施設ID
蔵波殿畑二号橋 (フリガナ) (クラナミノハタニゴウハン)	蔵波17号線	袖ヶ浦市蔵波1598-1地先				
緯度				経度	139.99543	35.44779,139.99543
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	蔵波川	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	5.1	4.5	上部構造 123-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)_桁(鋼床版) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2025.2.18	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	-----------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	B	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)



状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44779.139.99543	定期点検実施年月日	2025.2.18	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	-----------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁02
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁03
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44779.139.99543	定期点検実施年月日	2025.2.18	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	-----------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B





写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が喪失する可能性がある				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
施設ID	35.44779.139.99543	定期点検実施年月日	2025.2.18	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎		
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A
							
写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部103		
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている						
写真番号	10	径間	1	部材番号	-		
備考	走行の安全性が確保されている						
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>				<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>			
写真番号	11	径間		部材番号			
備考	(適宜、特記事項など)						
写真番号	12	径間		部材番号			
備考	(適宜、特記事項など)						

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44779,139.99543	定期点検実施年月日	2025.2.18	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	—	—	無	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、床版上面	
下部構造	—	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	
上下部接続部	無	—	—	無	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	

0-6

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下部構造は健全である。 ・前回点検時に橋台上に設置されたH型鋼支持材に著しい腐食が確認されていたが、補修工事によりH型鋼支持材はコンクリートに置き換えられている。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 ・架設年次が不明であり、少なくともレベル2地震動に対応している平成24年道路橋示方書より前の基準で設計されたと考えられることから、「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があるとして「B」と評価した。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 ・前回点検時より伸縮装置は取替済み。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に防食機能の劣化、変形が見られる。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	--

10. 蔵波辺田一号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44673	施設ID
蔵波辺田一号橋 (フリガナ) (クラナミンダイチゴウキョウ)	蔵波21号線	袖ヶ浦市辺田1578-1地先				
緯度				経度	139.99799	35.44673,139.99799
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	蔵波川	有	一般道	指定無し	有(水道管)	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	7.2	5.8	上部構造 123-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)I桁(鋼床版) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------





	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	B	写真番号 4	B	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	B	写真番号 7	B	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44673.139.99799		定期点検実施年月日		2024.07.02		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎																					
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造																			
想定する状況				1-活荷重				構成要素の状態				A																			
想定する状況				2-地震				構成要素の状態				A																			
																															
写真番号		1		径間		1		部材番号		主桁01		写真番号		2		径間		1		部材番号		主桁02									
備考		鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている																													
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造																			
想定する状況				3-豪雨・出水				構成要素の状態				A				想定する状況				1-活荷重				構成要素の状態				B			
																															
写真番号		3		径間		1		部材番号		主桁01		写真番号		4		径間		1		部材番号		橋台01									
備考		鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている																													
備考		支持材の腐食は活荷重により変状が生じる可能性がある																													

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44673.139.99799	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	支持材の腐食は地震により変状が生じる可能性がある。				



写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	B	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	支承部の腐食は活荷重により変状が生じる可能性がある				



写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部203
備考	支承部の腐食は地震により変状が生じる可能性がある				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44673.139.99799		定期点検実施年月日		2024.07.02		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎					
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)			
想定する状況				3-豪雨・出水				構成要素の状態				A			
想定する状況				1-活荷重				構成要素の状態				A			



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が保持されている				

構成要素			
想定する状況		構成要素の状態	

構成要素			
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44673,139.99799		定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	—	無	—	無	不可視部: 上部構造端部胸壁側、 床版上面	
下部構造	無	無	無	有	無	無	不可視部: 支持材の胸壁側	
上下部接続部	無	—	—	有	—	無	不可視部: 支承部の胸壁側	
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	有	不可視部: 伸縮装置下面	

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起点側、終点側の橋台上に設置されている支持材に断面欠損を伴う腐食が見られる。伸縮装置の目地材が脱落したことにより、雨水等が堆積したことが損傷の発生および進行の原因と考えられる。 ・湿潤状態となり腐食環境が形成されやすいことから損傷の進行は早いと推測する。支持材の耐荷力が不足することで構造安全性に影響を与えることが懸念されるため、「活荷重」および「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承本体に腐食が見られる。伸縮装置の目地材が脱落したことによる漏水の影響を受けたことが原因と考えられる。 ・水の浸入により損傷が拡大することが懸念される。「活荷重」および「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 ・レベル2地震動に対応している平成24年道路橋示方書より前の基準で設計されているため、現行の基準を満足する耐震性能を有していないと推測される。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置の目地材が脱落している。走行の安全性に影響は見られないものの、止水機能が喪失しており、桁端部周辺の鋼部材およびコンクリート部材の損傷を助長する要因となっていると考えられる。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に腐食が見られる。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、下部構造の支持材の腐食は構造安全性の観点から早期に補修すべき状態である。したがって、健全性の診断の区分を【Ⅲ】とする。</p>
----	---

11. 蔵波辺田二号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44545	施設ID
蔵波辺田二号橋 (フリガナ) (クラナミヘンダニコウキョウ)	蔵波23号線	袖ヶ浦市蔵波1402地先				
緯度	経度	35.44545,140.00000				
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	蔵波川	有	一般道	指定無し	有(水道管)	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
不明	5.2	3.1	上部構造	下部構造	基礎構造
			128-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)_H形鋼(不明)	19-その他(橋台)	9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況						
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他
橋(全体として)	B		B		A		(-)
上部構造	B	写真番号 1	B	写真番号 2	A	写真番号 3	(-) 写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-) 写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	B	写真番号 8	A	写真番号 9	(-) 写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-) 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-) 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44545,140.00000	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	髙虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	B	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
------	---	----	---	------	------

備考 主桁下フランジの腐食は活荷重により変状が所する可能性がある

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁02
------	---	----	---	------	------

備考 主桁下フランジの腐食は地震により変状が生じる可能性がある

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版01
------	---	----	---	------	------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台02
------	---	----	---	------	------

備考 機能は保持されているが変状が生じる可能性がある

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44545.140.00000	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
------	---	----	---	------	------

備考 機能は保持されているが変状が生じる可能性がある

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
------	---	----	---	------	------

備考 機能は保持されているが変状が生じる可能性がある

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部103
------	---	----	---	------	--------

備考 荷重を支持し伝達する機能が保持されている

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部203
------	---	----	---	------	--------

備考 アンカーボルトの腐食により、地震に対して変状が生じる可能性がある

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44545.140.00000	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が保持されている				

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.44545.140.00000		定期点検実施年月日	2024.07.02		定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他				
上部構造	無	無	無	有	—	無	不可視部: 上部構造端部胸壁側、 床版上面	—		
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部: 橋台背面、フーチング、 橋台前面(上部構造胸壁側)	—		
上下部接続部	無	—	—	有	—	無	無	—		
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	—		
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	有	不可視部: 伸縮装置下面	—		

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主桁端部に板厚減少を伴う著しい腐食が見られる。伸縮装置の目地材が脱落したことによる漏水および水路擁壁上の上流側から伝ってくる水によって、橋座面を湿潤環境にしていることが原因と考えられる。「活荷重」および「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 ・床版に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。前回点検から大きな変化は見られないことから、進行は遅いと考えられる。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦壁に鉄筋露出、うきが見られる。損傷は局所的であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・縦壁継目部からの漏水が見られる。湿潤環境を形成する要因の一つになっていると考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部アンカーボルトに著しい腐食が見られる。伸縮装置の目地材が脱落したことによる漏水および水路擁壁上から水が伝い、橋座面を湿潤環境にしていることが原因と考えられる。「活荷重」および「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 ・レベル2地震動に対応している平成24年道路橋示方書より前の基準で設計されているため、現行の基準を満足する耐震性能を有していないと推測される。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置の目地材が脱落している。走行の安全性に影響は見られないものの、止水機能が喪失しており、桁端部周辺の鋼部材およびコンクリート部材の損傷を助長する要因となっていると考えられる。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に腐食、地覆にひびわれ、鉄筋露出、欠損、舗装に欠損が見られる。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、主桁端部および支承部アンカーボルトの腐食は構造安全性の観点から早期に補修すべき状態である。したがって、健全性の診断の区分を【Ⅲ】とする。</p>
----	---

12. 蔵波台七丁目一号橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44391	施設ID
蔵波台七丁目一号橋 (フリガナ) (クラナダイナナチヨウメイチゴウキョウ)	蔵波台七丁目8号線	袖ヶ浦市蔵波台7-10-1地先				
経度					140.00155	35.44391,140.00155
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	蔵波川	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	5.4	9.0	上部構造 下部構造 基礎構造
			335-③RC橋_RC溝橋(BOXカルバート) 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44391.140.00155	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	頂版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	頂版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	頂版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	側壁01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44391.140.00155	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	側壁02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	側壁02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A




写真番号	7	径間	1	部材番号	隅角部01
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	隅角部02
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.44391,140.00155		定期点検実施年月日		2024.07.02		定期点検者		髙虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素															
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		構成要素の状態													
						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真10(数字は半角)」として下さい。</p>																	
												写真番号	9	径間	1	部材番号	隅角部01	写真番号	10	径間		部材番号	
備考						荷重を支持し伝達する機能が保持されている						備考						(適宜、特記事項など)					
構成要素				構成要素				構成要素				構成要素											
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>																	
												写真番号	11	径間		部材番号		写真番号	12	径間		部材番号	
備考						(適宜、特記事項など)						備考						(適宜、特記事項など)					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44391,140.00155	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:頂版上面	-
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:側壁背面および地中部	-
上下部接続部	無	無	無	—	—	無	不可視部:隅角部背面	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	—	—	—	—	—	—	-	-

12-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頂版に増水時についてと思われる土砂の汚れが見られるが、概ね健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・側壁にひびわれ、うき、欠損が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隅角部は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に防食機能の劣化、地覆にひびわれ、遊離石灰、うき、欠損、舗装に欠損が見られる。 ・舗装に段差が見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【 I 】とする。</p>
----	--

13. 蔵波跨線橋※(JR軌道上除く)

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.44022	施設ID	
蔵波跨線橋 (フリガナ) (クラナミコセンキョウ)	勝下清水頭線	袖ヶ浦市長浦580-113地先			経度	139.96302	35.44022,139.96302
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	JR内房線、市道3路線、水路、駐	有	一般道	指定無し	無		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
II

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1979	207.2	19.5	上部構造 124-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)I桁(不明) 下部構造 13-逆T式橋台 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.26	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1,2	A	写真番号 3	A	写真番号 4	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 5,6	B	写真番号 7,8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 10	B	写真番号 11	A	写真番号 12	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	B	写真番号 13	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 14	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.26	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	4	部材番号	主桁09
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	8	部材番号	横桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A

構成要素		上部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	7	部材番号	主桁08
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	9	部材番号	床版04
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.26	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	2	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	7	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B



写真番号	7	径間	2	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が喪失する可能性がある				

写真番号	8	径間	3	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が喪失する可能性がある				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.26	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	9	部材番号	橋台02
備考	機能は保持されているが変状が生じる可能性がある				

写真番号	10	径間	2	部材番号	支承部102
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	11	径間	2	部材番号	支承部202
備考	荷重を支持し伝達する機能を喪失する可能性がある				

写真番号	12	径間	6	部材番号	支承部207
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.26	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		その他(フェールセーフ)		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	13	径間	7	部材番号	落橋防止02
------	----	----	---	------	--------

備考 地震によりフェールセーフの機能が喪失する可能性がある

写真番号	14	径間	8	部材番号	伸縮装置02
------	----	----	---	------	--------

備考 走行の安全性が確保されている

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真15(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真16(数字は半角)」として下さい。

写真番号	15	径間		部材番号	
------	----	----	--	------	--

備考

写真番号	16	径間		部材番号	
------	----	----	--	------	--

備考

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.44022.139.96302	定期点検実施年月日	2024.07.26	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	有	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、 床版上面	—
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、 橋台前面(上部構造胸壁側)	—
上下部接続部	無	—	—	有	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	—
その他(フェールセーフ)	無	—	—	有	—	無	無	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	有	不可視部:伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主桁端部および横桁に腐食、床版に遊離石灰を伴うひびわれ、鉄筋露出が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 JR軌道上の床版に遊離石灰の析出および繊維シートの膨れが見られる。前回点検から大きな変化は見られず、規模は大きくないものの、今後損傷が進行し、剥落することが懸念される。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道部の橋台、橋脚の巻き立てコンクリートにひびわれが見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 車道部の橋台に落書きが見られる。維持工事による対応が望ましい。 歩道部の橋台、橋脚に鉄筋露出が見られる。前回点検から大きな変化は見られないことから、損傷の進行は遅いと考えられる。また、いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 本橋は昭和54年に架設されており、タイプⅡ相当のレベル2地震動が設定された平成8年の道路橋示方書より前の基準で設計されている。車道部の橋脚は耐震補強工事が実施されているが、歩道部の橋脚は実施されていないことから、「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があるとして「B」と評価した。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支承本体に腐食、沓座モルタルにひびわれ、うき、欠損、アンカーボルトの傾きが見られる。いずれの損傷も軽微であり、荷重を支持し伝達する機能に影響は見られない。 レベル2地震動に対応している平成24年道路橋示方書より前の基準で設計されたと考えられるため、地震に対して何らかの変状が生じる可能性があることから「B」と評価した。 <p>【その他(フェールセーフ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道部橋脚上の縁端拡幅部にひびわれ、鉄筋露出、伸縮装置からの漏水が見られる。いずれの損傷も軽微であり、フェールセーフの機能は保持されている状態である。 歩道部の落橋防止構造は鋼板のみで構成されており、軽微な防食機能の劣化が見られる。衝撃吸収が期待できないことから、「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性があるとして「B」と評価した。なお、車道部は鋼板の他に緩衝チェーン、緩衝ベルトおよび緩衝ピンタイプのもので取り付けられており、「地震」に対して変状が生じる可能性は低いと判断する。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伸縮装置に腐食、欠損が見られる。中央分離帯の伸縮装置直下には排水樋が設置されていないため、桁下端部の部材の損傷を助長する要因になっていると考えられる。なお、走行の安全性に対する影響は見られない。 排水樋に土砂詰まりが見られる。排水不良により湿潤環境を形成し、伸縮装置の腐食を助長していると考えられる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> JR軌道上の地覆に遊離石灰の析出および繊維シートの膨れが見られる。前回点検から大きな変化は見られず、規模は大きくないものの、今後損傷が進行し、剥落することが懸念される。また、高欄に見られたフラットバーの固定金具の欠損は、結束バンドにて仮固定を実施した。 地覆にうき、排水管に腐食、欠損が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。 防護柵に腐食、変形、高欄に腐食、ボルトの欠損、地覆に鉄筋露出、欠損、排水ますに腐食が見られる。 中央分離帯に植生、舗装に段差、土砂詰まり、排水管、排水ますに土砂詰まりが見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、日常の維持管理を実施するとともに、次回定期点検までの措置として、JR軌道上の床版および地覆の遊離石灰の析出、繊維シートの膨れを予防保全の観点から補修することが望ましい状態である。したがって、健全性の診断の区分を【Ⅱ】とする。</p>
----	--

14. 栄橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.41821	施設ID
(フリカナ) (サカエハシ)	坂戸川間尻線	袖ヶ浦市神納1301地先				
経度					139.95374	35.41821,139.95374
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	浮戸川	有	一般道	指定無し	不明	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1993	35.0	9.9	上部構造 下部構造 基礎構造
			411-④PC橋_プレテン床版 19-その他(橋台) 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	B	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.41821.139.95374	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	PC定着部12
------	---	----	---	------	---------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている

写真番号	2	径間	2	部材番号	PC定着部12
------	---	----	---	------	---------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版01
------	---	----	---	------	------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋脚02
------	---	----	---	------	------

備考 荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.41821.139.95374	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋脚02
------	---	----	---	------	------

備考 荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が喪失する可能性がある

写真番号	6	径間	2	部材番号	橋台01
------	---	----	---	------	------

備考 荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	2	部材番号	支承部101
------	---	----	---	------	--------

備考 荷重を支持し伝達する機能が保持されている

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部101
------	---	----	---	------	--------

備考 荷重を支持し伝達する機能が保持されている

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
施設ID	35.41821.139.95374	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎		
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A
							
写真番号	9	径間	2	部材番号	支承部201	写真番号	10
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている			径間	1	部材番号	-
備考				備考	走行の安全性が確保されている		
構成要素		構成要素		構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態		想定する状況		構成要素の状態	
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>				<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)て下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>			
写真番号	11	径間		部材番号		写真番号	12
備考				径間		部材番号	
備考				備考			

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.41821,139.95374	定期点検実施年月日	2024.07.08	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	-
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造の胸壁側)	-
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	-

14-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主桁に欠損、間詰め床版に遊離石灰の析出が見られる。損傷は局所的であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・PC定着部にひびわれ、鉄筋露出が見られる。いずれの損傷も軽微であると判断する。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋脚にひびわれが見られる。損傷は軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・平成8年道路橋示方書より前の基準で設計された2径間単純桁であり、橋脚に耐震補強がされていないことから「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性が考えられるとして「B」と評価した。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承本体にゴムの劣化が見られる。損傷は軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に防食機能の劣化、変形、地覆に鉄筋露出、欠損が見られる。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	---

15. 大曾根橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.40754	施設ID
				経度	140.00909	35.40754,140.00909
大曾根橋 (フカナ) (オゾネハシ)	大曾根島合線	袖ヶ浦市大曾根115地先				
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	浮戸川	有	一般道	指定無し	不明	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1995	12.5	14.7	上部構造 下部構造 基礎構造
			411-④PC橋_プレテン床版 19-その他(橋台) 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.40754.140.00909	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	枝桁
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A

構成要素		下部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.40754.140.00909	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.40754.140.00909	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.40754,140.00909	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	

15-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枝桁に欠損、床版に遊離石灰が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋台に遊離石灰を伴うひびわれが見られるが、損傷は軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置の後打ちコンクリートにひびわれが見られるものの、走行の安全性および止水機能に対する影響は見られない。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵に防食機能の劣化、地覆に剥離、うき、欠損が見られる。 ・排水樹に土砂詰まりが見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	---

16. 川原井石崎橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.41221	施設ID	
川原井石崎橋 (フカナ) (カワハラインザキハシ)	川原井林線	袖ヶ浦市川原井498地先			経度	140.06899	35.41221,140.06899
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	松川	有	一般道	指定無し	有(水道管)		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
2001	11.1	8.9	上部構造 下部構造 基礎構造
			411-④PC橋_プレテン床版 19-その他(橋台) 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.10.23	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.41221.140.06899	定期点検実施年月日	2024.10.23	定期点検者	鋭虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁06
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A

構成要素		下部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁07
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.41221.140.06899	定期点検実施年月日	2024.10.23	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.41221.140.06899		定期点検実施年月日		2024.10.23		定期点検者		麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎					
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)			
想定する状況				3-豪雨・出水				構成要素の状態				A			
想定する状況				1-活荷重				構成要素の状態				A			



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素			
想定する状況		構成要素の状態	

構成要素			
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.41221,140.06899	定期点検実施年月日	2024.10.23	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	-
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	-
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	-

16-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦壁に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。損傷は軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・縦壁に伸縮装置からの漏水が見られるが、特段の影響は見られない。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地覆部のシーリング材に欠損が見られる。走行の安全性に影響は見られないものの、止水機能が一部喪失している状態である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装にひびわれが見られる。 ・舗装、排水ますに土砂詰まりが見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	--

17. 百目木志保沢橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.37846	施設ID	
百目木志保沢橋 (フリガナ) (ドウメキシホサワハシ)	百目木2号線	袖ヶ浦市百目木727地先			経度	140.04504	35.37846,140.04504
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	不明	有	一般道	指定無し	無		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
II

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	9.2	3.9	上部構造 411-④PC橋_プレテン床版
			下部構造 19-その他(橋台)
			基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.37846.140.04504	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁12
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	PC定着部11
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版12
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

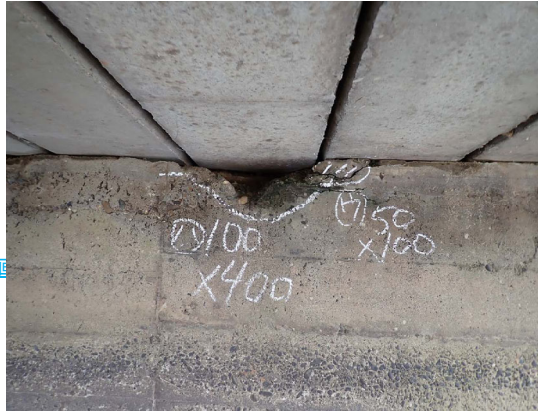
写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.37846.140.04504	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				



写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				



写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.37846.140.04504	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎		
構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素		構成要素の状態	
想定する状況		構成要素の状態	

構成要素		構成要素の状態	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.37846.140.04504	定期点検実施年月日	2024.07.02	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部: 上部構造端部胸壁側、 主桁上面	—
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部: 橋台背面、フーチング、 橋台前面(上部構造胸壁側)	—
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部: 支承部の胸壁側	—
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部: 伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC鋼材横締め定着部に腐食、漏水が見られる。橋面のひびわれから雨水等が浸入したことが原因と考えられる。主桁に鋼材腐食による錆汁は確認できないが、損傷の進行によって耐荷力の低下が懸念される。 ・間詰め床版に遊離石灰が見られる。橋面のひびわれから雨水等が浸入したことが原因と考えられる。 ・堅壁に豆板、欠損が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 ・A1橋台前面に土砂堆積が見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装にひびわれが見られる。桁下部材への漏水の原因となっていると考えられる。 ・防護柵の反射板に欠損、地覆に遊離石灰を伴うひびわれ、うきが見られる。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、日常の維持管理を実施するとともに、次回定期点検までの措置として、PC鋼材横締め定着部の腐食および原因である舗装のひびわれは予防保全の観点から補修することが望ましい状態である。したがって、健全性の診断の区分を【Ⅱ】とする。</p>
----	---

18. 百目木暮田橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.38025	施設ID
				経度	140.03713	35.38025,140.03713
百目木暮田橋 (フガナ) (ドウメクレタハシ)	百目木木下内橋線	袖ヶ浦市百目木329-4地先				
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	不明	有	一般道	指定無し	不明	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	5.9	5.5	上部構造 310-③RC橋_RC床版橋(その他) 下部構造 19-その他(橋台) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		B		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	B	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.38025.140.03713	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.38025.140.03713	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	B



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	-
備考	土留め壁の崩壊は豪雨・出水により橋梁に影響を与える可能性がある				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.38025.140.03713		定期点検実施年月日		2024.07.01		定期点検者		兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎					
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)			
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A	



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素			
想定する状況	構成要素の状態		

構成要素			
想定する状況	構成要素の状態		

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考					

写真番号	12	径間		部材番号	
備考					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.38025,140.03713	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	-
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	-
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	-

18-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下部構造は健全である。 ・A1橋台上流側に設置されている土留め壁が崩壊している。現状は橋の構造安全性に影響が見られないが、「豪雨・出水」が発生した際に土砂が流され、橋梁に影響を与える可能性があることから「B」と評価した。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の部材に損傷は見られない。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	--

19. 大原橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.39418	施設ID	
大原橋 (フガナ) (オオハラハン)	代宿横田線	袖ヶ浦市横田4535地先			経度	140.01633	35.39418,140.01633
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	松川	有	一般道	指定無し	不明		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1988	35.5	8.5	上部構造 下部構造 基礎構造
			421-④PC橋_プレテンT桁 13-逆T式橋台 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.10	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	B	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	A	写真番号 10	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 11	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.39418.140.01633	定期点検実施年月日	2024.07.10	定期点検者	麓虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	床版03
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	2	部材番号	主桁01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	床版02
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.39418.140.01633	定期点検実施年月日	2024.07.10	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	B	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋脚02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が喪失する可能性がある				

写真番号	6	径間	2	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A

構成要素		上下部接続部	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部203
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	2	部材番号	支承部209
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.39418.140.01633		定期点検実施年月日		2024.07.10		定期点検者		発虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(フェールセーフ)											
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A									
																							
写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部205							写真番号	10	径間	2	部材番号	-						
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている											備考	地震時におけるフェールセーフの機能が保持されている										
構成要素				その他(伸縮装置)				構成要素															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況				構成要素の状態											
												<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。 画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>											
写真番号	11	径間	1	部材番号	-							写真番号	12	径間		部材番号							
備考	走行の安全性が確保されている											備考	(適宜、特記事項など)										

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.39418,140.01633	定期点検実施年月日	2024.07.10	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部: 上部構造端部胸壁側、 主桁上面	—
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部: 橋台背面、フーチング、 橋台前面(上部構造胸壁側)	—
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部: 支承部の胸壁側	—
その他(フェールセーフ)	無	無	—	有	—	無	不可視部: 橋台側埋め込み部	—
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部: 伸縮装置下面	—

所見	<p>【上部構造】 ・床版に遊離石灰、床版横締めPC定着部に鉄筋露出が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。</p> <p>【下部構造】 ・橋台にひびわれ、伸縮装置からの漏水、橋脚にひびわれが見られる。ひびわれ幅は0.1から0.2mm程度と軽微であり、荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能に影響は見られない。 ・平成8年道路橋示方書より前の基準で設計された2径間単純桁であり、橋脚に耐震補強がされていないことから「地震」に対して何らかの変状が生じる可能性が考えられるとして「B」と評価した。</p> <p>【上下部接続部】 ・支承部は健全である。</p> <p>【その他(フェールセーフ)】 ・落橋防止システムに腐食が見られるが、損傷は軽微であり、フェールセーフの機能は保持されている状態である。</p> <p>【その他(伸縮装置)】 ・地覆部および縁石部のシール材に欠損が見られる。走行の安全性に影響は見られないものの、止水機能が一部喪失している状態である。</p> <p>【その他】 ・排水管に孔食を伴う腐食が見られる。予防保全の観点から補修することが望ましい。 ・防護柵に防食機能の劣化、変形、排水ますに腐食、欠損が見られる。 ・舗装に段差が見られる。維持工事による対応が望ましい。</p> <p>【健全性の診断の区分の決定】 上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	---

20. 無名橋(109)

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.38705	施設ID	
無名橋(109) (フリガナ) (ムメイキョウ(ヒャクキョウ))	三箇下町目線	袖ヶ浦市三箇1062-4地先			経度	140.04541	35.38705,140.04541
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	不明	有	一般道	指定無し	無		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	4.2	7.0	上部構造 下部構造 基礎構造 310-③RC橋_RC床版橋(その他) 19-その他(橋台) 9-その他

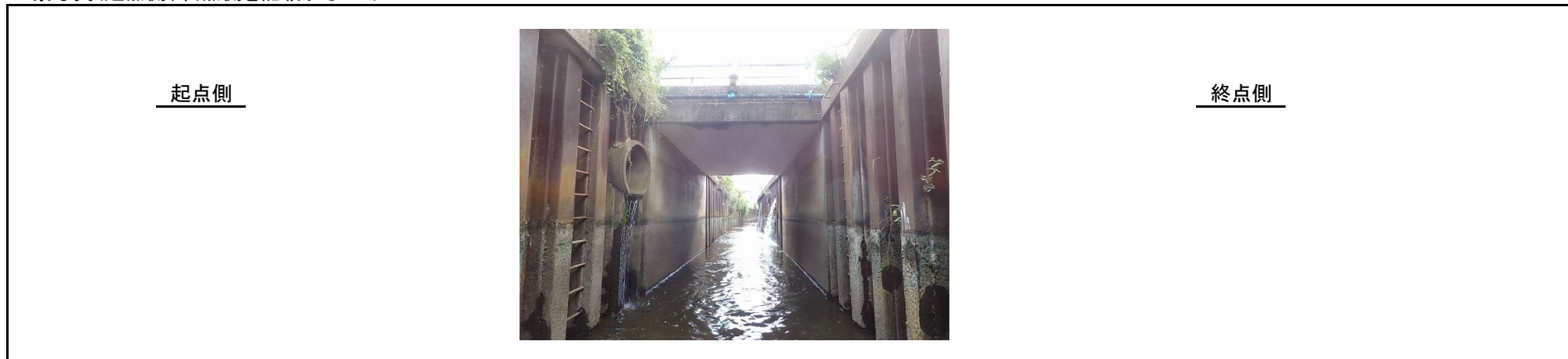
※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.9.10	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	-----------	-------	------------------------

	想定する状況						
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他
橋(全体として)	A		A		A		(-)
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-) 写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-) 写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-) 写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-) 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 10	-	写真番号	-	写真番号	(-) 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)



状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.38705.140.04541	定期点検実施年月日	2024.9.10	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	-----------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	主桁01
------	---	----	---	------	------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持し構成要素の機能が保持されている

写真番号	2	径間	1	部材番号	主桁01
------	---	----	---	------	------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持し構成要素の機能が保持されている

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	主桁01
------	---	----	---	------	------

備考 鉛直及び水平方向の荷重を支持し構成要素の機能が保持されている

写真番号	4	径間	1	部材番号	橋台01
------	---	----	---	------	------

備考 荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.38705.140.04541	定期点検実施年月日	2024.9.10	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	-----------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

写真番号	6	径間	1	部材番号	橋台02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	7	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	8	径間	1	部材番号	支承部101
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.38705.140.04541	定期点検実施年月日	2024.9.10	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	-----------	-------	---------------------

構成要素		上下部接続部		構成要素		その他(伸縮装置)	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	9	径間	1	部材番号	支承部201
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

写真番号	10	径間	1	部材番号	-
備考	走行の安全性が確保されている				

構成要素		構成要素	
想定する状況		構成要素の状態	

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真11(数字は半角)」として下さい。

概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。
 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け
 (セルの上に配置)して下さい)
 なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。
 画像の**オブジェクト名**を「写真12(数字は半角)」として下さい。

写真番号	11	径間		部材番号	
備考	(適宜、特記事項など)				

写真番号	12	径間		部材番号	
備考	(適宜、特記事項など)				

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.38705,140.04541	定期点検実施年月日	2024.9.10	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:上部構造端部胸壁側、主桁上面	
下部構造	—	無	無	—	無	無	不可視部:橋台背面、フーチング、橋台前面(上部構造胸壁側)	
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	不可視部:支承部の胸壁側	
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	—	
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	不可視部:伸縮装置下面	

20-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終点側橋台のコールドジョイント部にひびわれ、断面補修実施箇所に着目が見られる。いずれの損傷も軽微であり、耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支承部は健全である。 <p>【その他(伸縮装置)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸縮装置は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装にひびわれ、段差が見られる。維持工事による対応が望ましい。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【I】とする。</p>
----	--

21. ボックスカルバート④

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.41392	施設ID
				経度	139.99154	35.41392,139.99154
ボックスカルバート④ (フリガナ) (ボックスカルバートヨ)	飯富22号線	袖ヶ浦市飯富1883地先				
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
袖ヶ浦市	用水路	有	一般道	指定無し	無	

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
不明	3.0	3.0	上部構造 下部構造 基礎構造 336-③RC橋、RC特定溝橋(BOXカルバート) 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎
-----------	------------	-------	------------------------

	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		A		A		(-)	
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 2	A	写真番号 3	(-)	写真番号
下部構造	A	写真番号 4	A	写真番号 5	A	写真番号 6	(-)	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 7	A	写真番号 8	A	写真番号 9	(-)	写真番号
その他(フェールセーフ)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号
その他(伸縮装置)	-	写真番号	-	写真番号	-	写真番号	(-)	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

<p>起点側</p>		<p>終点側</p>
------------	--	------------

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.41392.139.99154	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		上部構造		構成要素		上部構造	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A



写真番号	1	径間	1	部材番号	頂版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	2	径間	1	部材番号	頂版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

構成要素		上部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A	想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A



写真番号	3	径間	1	部材番号	頂版01
備考	鉛直及び水平方向の荷重を支持する機能が保持されている				

写真番号	4	径間	1	部材番号	側壁02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID	35.41392.139.99154	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎
------	--------------------	-----------	------------	-------	---------------------

構成要素		下部構造		構成要素		下部構造	
想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A	想定する状況	3-豪雨・出水	構成要素の状態	A



写真番号	5	径間	1	部材番号	側壁02
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				



写真番号	6	径間	1	部材番号	側壁01
備考	荷重を支持し基礎・周辺地盤に伝達する機能が保持されている				

構成要素		上下部接続部		構成要素		上下部接続部	
想定する状況	1-活荷重	構成要素の状態	A	想定する状況	2-地震	構成要素の状態	A




写真番号	7	径間	1	部材番号	隅角部01
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				



写真番号	8	径間	1	部材番号	隅角部02
備考	荷重を支持し伝達する機能が保持されている				

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.41392.139.99154		定期点検実施年月日		2024.07.01		定期点検者		兎虎ノ門コンサルタント(漆畑 雄一郎													
構成要素				上下部接続部				構成要素															
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況		構成要素の状態													
						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真10(数字は半角)」として下さい。</p>																	
												写真番号	9	径間	1	部材番号	隅角部02	写真番号	10	径間		部材番号	
備考						荷重を支持し伝達する機能が保持されている						備考						(適宜、特記事項など)					
構成要素				構成要素				構成要素				構成要素											
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真11(数字は半角)」として下さい。</p>						<p>概ねこのセル枠内に全景写真の「画像ファイル」を挿入する。 (コピー&ペーストは使わず、「挿入」→「画像」で貼付け (セルの上に配置)して下さい) なお、画像ファイルは、JPEG形式のものを使用して下さい。</p> <p>画像のオブジェクト名を「写真12(数字は半角)」として下さい。</p>																	
												写真番号	11	径間		部材番号		写真番号	12	径間		部材番号	
備考						(適宜、特記事項など)						備考						(適宜、特記事項など)					

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

	施設ID	35.41392,139.99154	定期点検実施年月日	2024.07.01	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一郎		
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反応	防食機能の低下	洗掘	その他		
上部構造	無	無	無	—	—	無	不可視部:頂版上面	-
下部構造	無	無	無	—	無	無	不可視部:側壁背面および地中部	-
上下部接続部	無	無	無	—	—	無	不可視部:隅角部背面	-
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—	-	-
その他(伸縮装置)	—	—	—	—	—	—	-	-

21-5

所見	<p>【上部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部構造は健全である。 <p>【下部構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・側壁にひびわれ、豆板、遊離石灰が見られる。前回点検より大きな変化は見られないことから、損傷の進行は遅いと考えられる。また、損傷は軽微であり耐荷力の低下の可能性は低いと考えられる。 <p>【上下部接続部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隅角部は健全である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の部材は健全である。 <p>【健全性の診断の区分の決定】</p> <p>上記より、次回定期点検までの間に日常の維持管理を実施する必要があるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態であることから、健全性の診断の区分を【 I 】とする</p>
----	--